



2015年6月25日発行 会報 第797号

今週のプログラム

(2015年 6月25日 第797回例会)

高尾修会長・木下吉宏幹事 ご挨拶
優良出席表彰 山下出席委員長
会長・幹事ご苦労様会

次週のプログラム

(2015年 7月2日 第798回例会)

松田親男新会長 就任ご挨拶
山本友亮新幹事 就任ご挨拶

第796回例会(2015年6月18日)の記録

<ロータリーソング>

全員

♪夏は来ぬ♪

<会長の時間>

高尾修会長

ロータリーは世界に約122万人の会員を持つ国際的な集団です。1905年にアメリカシカゴで発祥したロータリーは109年後には200を超える国と地域に広がり、クラブ数34,558を超える国際団体に成長しました。世界を577地区に分類し、日本は34の地区に分けられています。私たちの所属する第2660地区は大阪府大和川以北に所在する82ロータリークラブで構成されており、3名から257名の会員を有する大小さまざまなクラブがあります。毎週1回の例会を開いていますが、そのほとんどが昼例会でありますし、早朝、ティータイム、夜例会のクラブもあり、すべてのクラブで多彩な「奉仕」活動を行っています。国際的には、発展途上国に多くの支援をしています。人道的奉仕として、①平和と紛争予防/紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展に関する活動を中心に行っております。戦争、疾病、貧困、飢餓、人権侵害、虐待、格差がないことが平和な社会ではないでしょうか。未来を見据えた奉仕として、私たちは多くの奉仕活動をしています。2660地区だ

けで18歳から30歳までのメンバーで構成されている「ローターアクトクラブ」は19クラブあり、約200名の若者と共に献血活動、清掃活動、老人ホームの慰問活動、点字本作成の補助等数え切れないほど多くのボランティア活動を支援しています。また12歳から18歳までのメンバーで構成されるインターアクトクラブのボランティアも支援しています。さらに今年は10名の高校生を世界に一年間派遣し、代わりにその国の高校生をホームステイで受け入れる「青少年交換」という活動も行っています。

また当地区では毎年30名(全国では700名以上)の在阪外国人留学生に奨学金を支給しています。嬉しいことにその留学生が母国に帰国し、その恩を返すという思いで日本人留学生を支援してくれています。世界の平和はお互いを理解しあい、信頼するところから始まります。最後に私たちロータリークラブメンバーの行動指針である「四つのテスト」をご紹介します。

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情をふかめるか 4. みんなのためになるかどうか。

<幹事報告>

木下吉宏幹事

1. 茨木RCより創立55周年式典への出席に対するお礼状が届きました。
2. 本日例会終了後、もず・はとの間にて今期総括アッセンブリーを開催します。

3. ダメゼッタの国連支援募金は本日で締め切り
♪本日の演奏曲♪ 近藤美里さん

1. ヴェネチアの祈り

2. La Cumparsita(ラ クパルシタ)

3. ラマニノ ピアノ協奏曲第2番 1楽章より

<委員会報告>

1. プログラム担当 山田克子会員

来週ファイナセッションを担当します。

2. 親睦ゴルフ会担当 山本友亮会員

第4回高尾会長杯コンペ成績発表・表彰

黒川彰夫会員優勝挨拶

3. 会長・幹事ご苦労様会の案内 山本友亮次期幹事

<出席報告> 山下聰一郎出席担当

会員数(内出席免除会員4名) 23名

本日の出席者数(内出席免除会員3名) 16名

本日の出席率 72.73%

6月4日の修正出席率 86.36%

※メイプル基金※ 山田克子副SAA

高尾会長：本日の千里メイプルRC会長杯ご参加ありがとうございます。

黒川会員：岸上さん、今日はありがとう。

山田会員・藤田会員：水島会員、卓話楽しみです。

山本(友)会員：本日のコンペ、お疲れ様でした。

武市会員：ごめんなさい。お久しぶりです。

水島会員：本日卓話担当です。よろしく申し上げます

山下会員・岸上会員：コメントなし。

※ラオス基金※

黒川会員：水島さん、ラオスの話よろしく。

水本会員：ラオス行き、計画しましょう。

藤田会員：ラオスレポート、ラオスに行かないと。

水島会員：本日の卓話はラオス報告です。

山下会員：コメントなし。

※ロータリー財団※

高尾会長：水島会員、卓話よろしく。

黒川会員：武市さん、今日はありがとう。

藤田会員：コメントなし。

※米山記念奨学会※

高尾会長・藤田会員：山本(友)会員、本日のゴルフの幹事、ありがとうございました。

小山会員：高尾会長、今年度あと2回ですね。

黒川会員：山田さん、今日はありがとう。

山田会員：アキオちゃん、岸上ちゃん、タケちゃん、

今日はありがとう。いつかは、君づけで。

相原会員・山下会員：コメントなし。

※スマイルボックス※

村田会員：山田会員、今日は雨が降らなくてよかったですね。

黒川会員：今日は山本(友)さんありがとう。

山下会員：コメントなし。

<卓話>

担当：水島 洋

「ラオスにおける保健衛生支援」

平成26年度活動報告書(抜粋) 山本加奈子さん

平成26年9月20日～10月4日ならびに平成27年3月18日～3月29日の期間にラオス国北部のルアンパバーン県パクウ郡において山本加奈子さんがパクウ郡病院の職員と、ナーサワン村、ヌンサワン村、ポンサワン村、ファイオットの診療所の看護師の協力を得て、合計15小学校を巡回し、保健衛生の改善に関する支援活動を実施した概要報告である。

これらの学校は今まで何度か巡回し、手洗い教育を行うと共に、石鹸と手洗い用の蛇口付きバケツ、手拭きタオルを支援した学校である。これらの学校で石鹸の使用状況と共に手洗いがきちんと実施できているかどうか確認を行いつつ、再度教育を行ってきた。また、手洗いを継続的に実施できるよう学校に石鹸を設置すると共に、自宅でも実施できるように全学童に石鹸をプレゼントした。

以前から学童の衛生に対する教員のモチベーションが高かったファイペーン小学校では昨年度より独自に手洗い台を設置し、学童が継続的に手洗いできるように工夫されていた。この学校では寄生虫症の感染率も他校に比べて低い状況にあり、手洗い教育の効果が伺えた。ただ、他の学校では教師のモチベーション、学童のモチベーションに差があり、実施度もさまざまであるので、今後とも引き続き促していきたい。

このファイペーン小学校では手洗いに積極的な一方で水源の確保が難しいため、立派なトイレがあるにもかかわらず使われないままであった。学校から300m離れたところにある小川が水源であるが、学童の水汲みに対する負担も大きいことから、水の確保を確実かつ容易にする必要があった。それは3年前から毎年訪問の都度要請を受けていたので、今回小川の水源にポンプを設置し、パイプを通してトイレ近くの水貯めまで汲み上げることとして資材を寄贈した。(千里メイプルよりの支援金40万円のうちの19万円で購入)

最近ラオスのキープが強いうえに円安と物価高で従来の半分以下程度の支援しかできなくなっているのが現状です。(担当 水島 洋)